

H31年1月30日原告から出された準備書面(6)より

5 すすき野第二団地の大規模修繕工事（2号棟の工事期間は、平成29年4月頃から8月頃迄である）が、原告ら（ことに 娘）の化学物質過敏症に対して、どのような影響があるか。

宮田医師は、

「マンションの塗装と同時に防水工事も行われます。その際に発生する揮発性有機化学物質の量は非常に大きいのです。ただ、本患者さんは工事後でも特に違和感なく、タバコの副流煙が流入してくることから症状が悪化しております。やはりタバコの副流煙を中心に考えるべきと考えます」